

体力テストの様子から

ゴールデンウィーク明けの5月8日(木)～5月16日(金)までの間に体力テストが行われました。内容としては、50m走、握力、ソフトボール投げ、長座体前屈、反復横跳び、上体おこし、立ち幅跳び、シャトルラン(持久力)です。コロナ禍の中で、集団で遊ぶことや距離を取って過ごす等の影響により、子供たちの体力低下が課題視されてきましたが、現在では、徐々に回復が図られてきているところです。

今回、私は、ソフトボール投げが特に気になり、子供たちの様子を見ることにしました。投げるという運動は、私が小学生の頃には、日常の遊びの中で行われていて、「ビー玉」や「めんこ」のように手や腕を使って、感覚的に動きを身に付けていたように思います。投げるスポーツとなれば、野球でしたし、遊びの中でキャッチボールやドッチボールをしていましたので、自然に投げる動作ができました。最近では、スポーツにおいても多様化が進み、



サッカーやバスケットボール、卓球、バドミントン、バレーボールなどなど、人それぞれが興味をもつものを中心に行うようになっていきましたので、投げるという行為そのものは、意図的に行われないと身に付かなくなっているように思います。



物を投げるということは手や腕だけでもできます。しかし、遠くに物を投げたり、コントロールを伴って目標に向かって投げたりするためには、体全体のバランスが必要になります。また、遠くに投げる、目標に向かって投げるとなれば、意識を集中させることも必要であり、心の働きに影響を受けるところです。

子供たちの心身の成長を図るうえで、単に体力の状態を知るだけでなく、心身のバランスや学年相応の力がどのように身に付いているか等、体力テストは、本校の子供たちの状態を知る上での大きな目安になると思います。改めて、投げる姿や力など、本校の子供たちの心身の状況をきちんと見ていきたいと思う今回の体力テストでした。

育成会の定例会・総会

地域の行事として、育成会の取組がたくさん行われていることは、多くの方がご存じのところかと思えます。また、学校運営協議会の委員として、育成会の代表の方に学校運営に参画いただいています。お陰様で、様々にご意見やご協力をいただきながら、学校運営がスムーズに行うことが

できていて、感謝申し上げます。

私や副校長先生も、育成会との連携のために、定期的に行われている定例会に出席させていただいています。その際には、学校の現状や子供たちの様子だけでなく、教育現場の課題やコミュニティスクールの取組での確認を行うなど、育成会との連携を意識した内容の話をさせていただこうと思っています。5月23日(金)には、本校にて育成会総会を行い、今年度の活動が決まりました。

子供たちにとって、様々な方々と様々な取組を通して体験をすることや経験を積み上げることは、未来のための大きな財産となります。そのことから、育成会等の様々な地域行事への子供たちや保護者の皆さまの参加について、学校としても応援してまいります。よろしくお願いいたします。

北秋田市立清鷹(せいよう)小学校との交流

国立市は、都市間交流として、イタリアのルッカ市と秋田県の北秋田市の2都市と交流を行っています。特に学校間交流として、令和4年度以降では、国立第七小学校と北秋田市立鷹巣小学校において、教員の派遣交流が行われ、少しずつ交流の輪を広げてきました。今年度、私が異動をしたこともあり、これまでのお礼を込めて鷹巣小学校へご挨拶の連絡を入れたところ、教員派遣交流でお世話になった明石教頭先生が校長先生に昇任されて、お隣の学校である清鷹小学校に着任されたことが分かりました。改めて、明石校長先生に連絡を入れたところ、今年度から本校との学校間交流にご賛同いただき、北秋田市立清鷹小学校との間で交流の輪を広げていくこととなりました。

清鷹小学校は、地域学校協働活動が盛んなコミュニティスクールであり、地域の農家との協働で、学校の特色的な活動である「田んぼアート」に取り組んでいる学校です。

本校との交流は、先ずはお互いの学校のお便りの交換から始め、将来においては、両校の児童同士の交流などの活動に広げていきたいと思っています。

校長室廊下に、清鷹小学校の学校便りを掲示しておきますので、お時間があるときにでもご覧になってください。清鷹小学校の方でも、掲示板で本校のお便りが紹介されています。



清鷹小学校に興味をもたれた方は、ホームページの URL をお知らせしておきますので、ご覧になってみてください。<https://www.kumagera.ne.jp/seiyo/>

国立第六小学校が国立市の進める都市間交流の一翼を担えるように努めてまいります。

(「校長のつぶやき」は、スペースの関係上、今回は、割愛いたします。ご了承ください)